

前書き

今回たった1つのメッセージを伝えたくて、この本を書きました。

「ダメサラリーマンでも夢は叶う」

このメッセージを、以前の私のような、元気がない、自分に自信のないサラリーマンの仲間たちに伝えたいのです。

私は、26年間サラリーマンを続けています。26年間のサラリーマン人生のうち半分ぐらいは、完全なダメサラリーマンでした。いや、もしかしたら今もそうかもしれません(笑)。ただ、1つだけ自信を持つて言えることがあります。

「俺は、ダメサラリーマンだけど夢を叶えた。そして、誰がなんと言おうと、俺は俺の素晴らしさを知っている。だから、俺は、これからも夢を叶えることができる」

なぜ、そう思うようになったのか、私のサラリーマン人生の一部をお話しさせてください。

私は、いい大学に入り、いい会社に入り、出世して、金持ちになつて。いわゆる、勝ち組に入りたくて、入りたくて、サラリーマン人生を始めました。かと言つて、大した努力もせず、自分ではできる奴だと思ひ込んで、仕事をしていました。この時点で、ダメサラリーマンですよ。そんな僕が、30代前半のころ新規事業開発の担当になります。できる俺にはぴったりの仕事だ、すぐに新規事業作つて出世してやる。そう思つていました。

しかし、現実には甘くなく、1年経つても、2年経つてもなんの成果も出ず。3年目ぐらいから、さすがにやばいと焦りだしました。自分ではもしかしたら、仕事できない奴かもしれないと思うようになり。全員、俺のことダメな奴と思つていような気がして、会社に行くのが怖くなつてきました。それでも結局何もできませんでした。

4年目になると、自分は完全にダメな奴だと思ふようになりました。新入社員が入つてくると、「また俺よりできる奴が入つてきた」と思うようになり。上司が助け舟を出してくれて、「新規開発だけだと、何もできない場合悪い評価しかつけれられない。新規に加えて、他の仕事もやらないか？ そうすれば、いい評価もつけられる」と言つてくれたのに、私には「お前はダメな奴だから、新規事業開発から外す」と言われているようにしか聞こえず、その申し出を断りました。新規事業さえできれば、仕事ができる自分に戻れると思つていました。しかし結局、何の成果も上がりませんでした。

そして5年目、そのころには社内でも、社外でも人と話すのが怖くて、怖くて、怖くて。怖すぎて、

クラシック音楽を聴くと気持ちが落ち着くと聞いて、聞いたことがないクラシック音楽を暇さえあれば聞いていました。それでも、怖さは収まらず、ついには、面談でお客様と話すことができなくなり。病院に行くと、うつ病と診断され、そのまま、休職することになりました。5年間もなんの成果も出せなかった、ダメな奴のままの休職です。

もう、できる奴には戻れない、勝ち組にも残れない、15年間のサラリーマン人生がすべて台無しだ。俺には何も残っていない。俺は何もできない、ダメな奴だ。俺は何のために生きているのかわからない、と思っていました。

ただ、うつ病が私にとって大きな転機でした。自暴自棄の中からではあったのですが、このとき初めて疑問を持ったのです。

「自分はなんのために生きているのか？」

この答えを探すため、セミナーに行き、講演会に行き、本を読み、禅寺にも入りました。多額のお金を使ってしまいました。でもその結果、見つけました。講演会も、本も、禅寺も、セミナーもすべて同じことを言っていたのです。

「人は全員、素晴らしい。その素晴らしさで、周りに貢献することが、人が生きる意味なのだ」

そして自分の生きる意味を探すために、私はこれまでの人生をムチャクチャ時間かけて振り返りました。私は、生徒会長、サッカーチームのキャプテン、労働組合の東京支部長をやっていました。ただ、私がリーダーのときは、いつもチームがどん底でした。学校はまとまらない、サッカーチームはムチャクチャ弱い、会社の業績が悪く退職者続出。私は、結果が出せない、ダメなリーダーだと自分で思っていました。ただ、私はリーダーとしていつもこう言っていました。

「皆頑張ろうぜ！」

そのとき私は、自分の生きる意味を見つけました。

「人の魂にスイッチを入れることができる」

私は、ダメなリーダーだと思っていたのですが、いつも皆の魂にスイッチを入れ、どん底から少しですが、チームを這い上がらせてきたことに気づきました。

「俺、生きる意味あった。すでに、生きる意味を実践してた」

自分の生きる意味を見つけたときは、涙が止まりませんでした。

自分の生きる意味を見つけると、自分のなりたいたい姿が自分の中に出てきました。人を熱くさせ、人をやる気に、元気にする人になりたい。私は、生まれて初めて、本当に叶えたい夢を見つけました。

ただ、生きる意味が見つかった、夢を持ったからといって、人生が変わるわけではありませんでした。1年の休職期間が明け、職場に復帰しましたが、うつ病あがりの私にはなんの仕事もありませんでした。コピーを取ることが関の山でした。

でも、そのコピー1枚から「仲間の魂にスイッチを入れよう」そう思ってコピーをとりました。

そこからの私は、すべての仕事を「仲間の魂にスイッチを入れる」ためにやりました。会議の準備、エクセル表の作成、忘年会の店の予約、ホッチキス止め、私にとってはすべての仕事で、自分の生きる意味を実感することができる、大切な出番でした。

そこから、7年経ち、私はどうなったのか？ 大金持ちにはなっていないし、大出世もしていないし、ベンチャー企業を立ち上げていてもありません。残念ながら、勝ち組になったわけではありません。しかし、仲間の魂にスイッチ入れるために仕事を続けた、うつ病のダメサラリーマンは、いつの間にか再び新規事業立ち上げのチームリーダーになり、仲間とともにがき、励まし合い、ついに新規事

業の立ち上げに成功しました。そして、思いもよらず、社長賞をもらったとき、仲間と大喜びしました。これは、一生の思い出です。

そして、かつての私のような元気のないサラリーマンの魂にスイッチを入れるため、NPO法人ドリームサラリーマンミーティング（ドリサラ）を立ち上げました。私が夢見た、人を熱くし、人をやる気に、元気にする活動をやっています。

今や、私の周りには、公私ともに自分の素晴らしさを知り、自分の素晴らしさを自分で活かし、周りに貢献し、そんな輝いている人がたくさんいます。

そうです、私は夢が叶いました。自分の生きる意味を見つけたときに、出てきたあの夢が間違いなく叶っています。そして私だけではありません、ドリサラの多くの愛すべきダメサラリーマン仲間たちも、同じように夢を叶えています。だから、私は確信しているんです。

「ダメサラリーマンでも夢は叶う」

この本の第1章・第2章では、私の実体験をもとに創った、そしてドリサラで7年間実践した、夢の見つけ方Step①～⑦、夢の叶え方Step①～④をお伝えします。すでに、ドリサラの多くの仲間たちが、このStepを踏んで夢を見つけ、夢を叶えています。本当に、このStepを実行すれば夢が叶います。

そして第3章では、愛すべきドリサラのダメサラリーマン仲間たちが、自分がいかにダメな奴だったのか。そしてそんなダメな奴が、どのように夢を叶えたのか、経験談を実名人入りで、公開します。この3章すべて読み終わったときに、あなたも「私も夢を持ちたい」そう思ってもらえたら本当にうれしいです。

これから本文が始まるのですが、実はこの本の中で、少し元気がない、少し独りよがりな、1人のサラリーマンがドリサラに参加します。どういう意味かって？ この本は、読みながら、そのサラリーマンと一緒にドリサラに参加して、実際に夢を見つけ、夢を叶えるStepを実践する構造になっているんです。ドリサラに参加したと思って、ぜひ実際にStepを踏んで夢を見つけてください。そして、夢を叶えてください。

なお、夢を叶えるStepではドリサラ発刊の「夢ノート」を使いながら進めていきます。「夢ノート」を購入手希望の方は、夢ノート購入サイトからお買い求めいただけます。

それでは、皆さん、ドリサラへようこそ。物語を読みながら、一緒に夢を見つけ、夢を叶えていきましょう。

夢ノート購入サイトQRコード..

